

謹賀新年

平成28年新年のごあいさつ

知恵と愛のある協働互敬（共同互恵）のまちづくりを

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、健
やかに新春をお迎えのことと
思います。

昨年は地方創生元年として、『天
田原市未来創造戦略』を策定し、
2060年時点での本市の人口
目標を6万人と設定いたしました。
このまま何もしなければ、本
市の人口は4万8千人まで減少
すると推計されております。人
口減を食い止めるため、今年も
あらゆる施策を実施し、目標達
成に向けて頑張っております。

更に、安心して暮らせるまち
づくりとして、市民の安全安心
の拠点施設である那須地区消防
組合が昨年誕生し、消防本部庁
舎、栃木北東地区消防指令セン
ターの完成により、隣接する那
須赤十字病院と合わせ、救急・
医療・消防、そして災害に対処
するための万全の体制が構築さ
れました。今回導入いたしました
最新の消防通信システムによ
り、迅速かつ効率的な運営が
可能となりましたので、これに
よってより高いサービスを提供
してまいります。

さて本年は、人づくりに力
を注ぎ、生涯学習を進めるこ

とにより、健康長寿で高齢者
が積極的に社会参加できるよ
うに進めてまいります。

また、現在本市においては、
安心生活創造事業（地域大家
族）が市内全地域で実施され
ています。高齢者、障がい者に
優しいまちを目指し、共に支
え合い幸せを享受できますよ
う、これからは更なる内容の
充実に努めてまいります。

更に、多様な職業人材の育
成、結婚支援、出産、安心子
育て支援の組織と人材の育成
を行います。このため、次代
を担う子どもたちが健やかに
育つために、保育園等のさら
なる充実を図ります。かねだ
保育園、のぞき保育園が民営
化され、子ども・子育て支援
の新制度による小規模保育施
設の整備、病児保育、休日保
育などを行える保育施設の整
備を予定しております。また、
学童保育館の更なる充実を図
り、子育て世代が安心して仕
事に励みながら子育てをでき
る環境を整備してまいります。

教育関係では、ICTを取
り入れた小中一貫型のモデル
校の実施と研究を進め、市内
全域により良い教育環境を実
現します。

また、産業振興の施策として、

農林業については、水田の基盤
整備事業の推進、山林路網の整
備、バイオマス産業都市構想や
畜産クラスターの推進、果樹・
施設園芸を中心とした首都圏農
業の確立など、TPP交渉合意
の影響に負けない農業おたわ
らを作ります。

商業については、ICTを
活用した新たなビジネスモデル
を構築し大田原初の商品の開
発、生産、販売等其々の挑戦に
支援をいたします。既にトコト
コ大田原が1年10か月で来場者
150万人を超え、グリーン
ツーリズム事業では交流人口が
5000人を超えています。与
一まつりをはじめ各地で行われ
た祭りや、スポーツイベント、
文化活動、各種行事が年々盛況
で、わがまち自慢などの新たな
事業にも取り組んでおります。
このように何事も真剣に知恵を
出し、それを実行していけば、
今までにならない商業の発展が実現
します。そのスケールの大きさは
当事者の意気込みにかかって
いるのです。

工業については、ICTと
の連携したモノづくりをはじめ
め、ロボット、環境、エネル
ギー、教育、医療福祉、農業、
林業、建設、ドローン等を活
用した空間を制するニュービ

ジネスなどの産学官金連携の
産業振興により、多くの雇用
の確保と所得の向上につなげ
ていきます。

そして、協働互敬お互いを
敬い共に汗を流し働くのまち
づくりで、安心して働くこと
ができ、子育てがし易く、老
後が楽しい大田原を目指して
まいります。

平成28年も、市民の皆様
にとって幸多い年でありませう
ご祈念し、ご挨拶いたします。

大田原市長

津久井富雄

